

デジタルアーカイブ学会 第6回研究大会

[55] アメリカ・アーキビスト協会
ミュージアム・アーカイブズ・セクションの
新ミュージアム・アーカイブズ・ガイドライン
案 について

筒井 弥生

国立公文書館認証アーキビスト

Certified Archivist

2021年4月24日(土)オンライン

はじめに ①

アメリカ・アーキビスト協会
ミュージアム・アーカイブズ・セクション

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section>

Researchmap 筒井弥生 筑波大学アーカイブズ

「活動紹介 アメリカ・アーキビスト協会
ミュージアム・アーカイブズ・セクションの活動」

https://researchmap.jp/TSUTSUIYayoi/published_papers/27951850

JADS研究 27・28号 2020年5月

(2019年6月JADS大会での報告&SAA2019にもとづく)

はじめに ② 関連リンク

[1] The Society of American Archivist Museum Archives Section,
<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section>

【予稿を訂正願います！】

[2] ガイドライン案への意見募集 2021年1月

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/mas-wg-invites-comments-on-updated-draft-of-museum-archives-guidelines>

PDF ファイル 新ガイドライン案 **DRAFT**

https://www2.archivists.org/sites/all/files/MuseumArchivesGuidelines_FinalDraftForCommunityReview.pdf

[3] 現行のガイドライン

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/museum-archives-guidelines>

[4] 新ガイドラインを策定しているワーキング・グループ

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/museum-archives-section-standards-and-best-practices-working-group>

[5] 上記ワーキンググループのリソースガイド

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/standards-best-practices-resource-guide>

★新ガイドラインが参照先としている

はじめに ③

- 翻訳のレベル
速報性を重視した仮訳。
英文が何を言っているかというほぼ直訳。
なるべく日本語に置き換えようとはしたが
適訳がなくカタカナのままのものも多い。

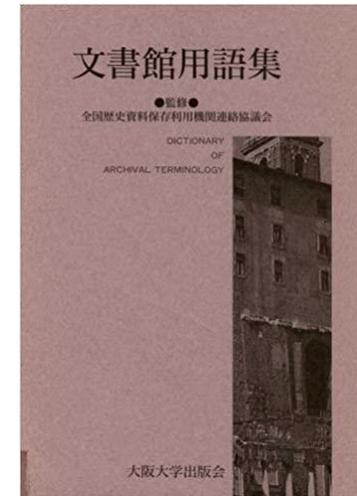
- 訳語について
概ねICA多言語用語集に準拠

ICA(国際アーカイブズ評議会)多言語用語集

<http://www.ciscra.org/mat/mat/termlist/I/Japanese>

SAA(アメリカ・アーキビスト協会)ディクショナリー

<https://dictionary.archivists.org/index.html>



1997年刊行

訳語・用語

appraisal 評価(選別)

arrangement 編成記述

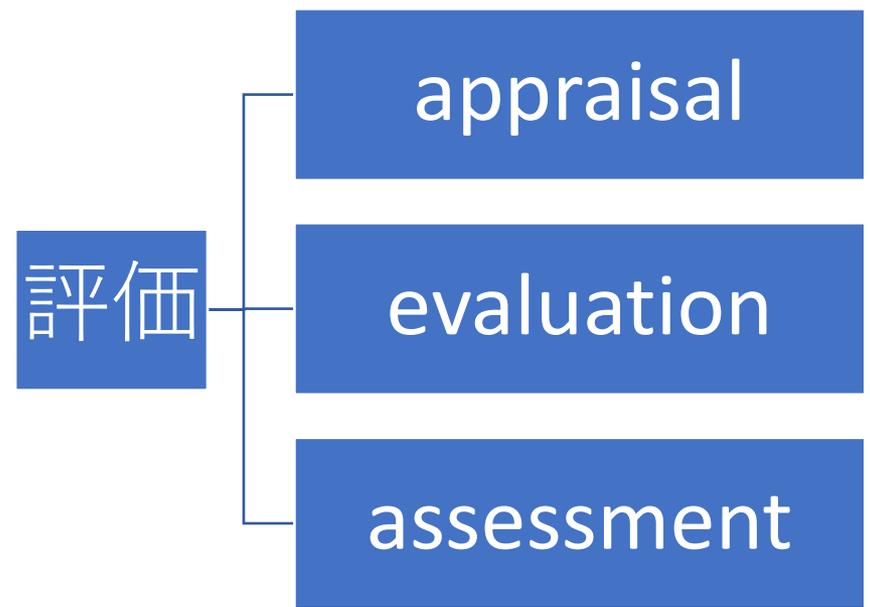
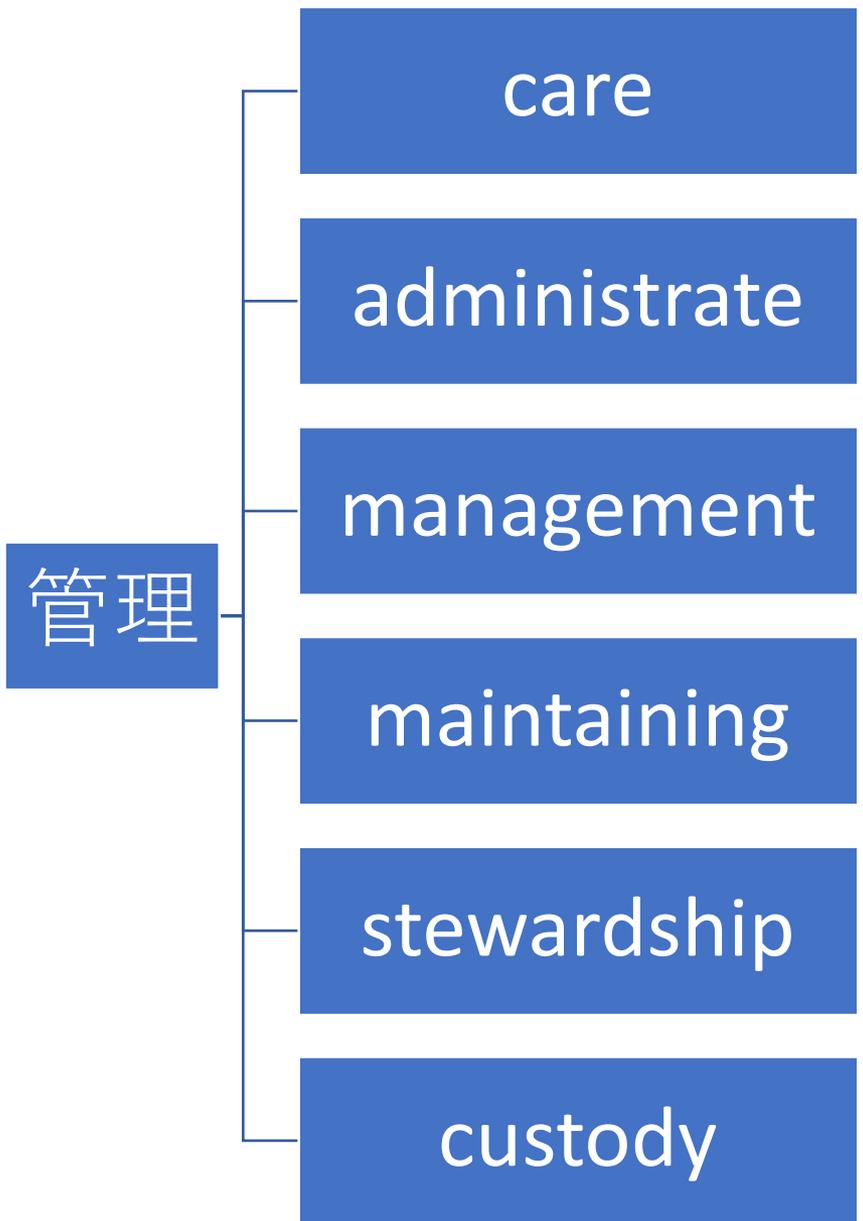
enduring value 永続的価値

entity 独立体 ⇒ RiC (Records in Context)

personal papers 個人文書(記録) 紙とは限らない

collection ミュージアムのモノ資料のコレクション
アーカイブズのコレクション (外からの取得)

翻訳の難しさ



現行ガイドラインには いくつか訳がある

MUSEUM ARCHIVES
AN INTRODUCTION
SECOND EDITION



SOCIETY OF AMERICAN ARCHIVISTS, MUSEUM ARCHIVES SECTION
DEBORAH WYTHE, EDITOR

”マニュアル本“
2004年刊行

佐々木秀彦「都美館・鳶職・町火消 -地域からたどる美術館の歴史
ミュージアム・アーカイブズの一環として-」『東京都美術館紀要』19号
平成25(2013)年3月刊 より

https://www.tobikan.jp/media/pdf/h24/archives_bulletin_h24.pdf

現ガイドライン (2003年策定) より

ミュージアムの組織記録は、ミュージアムの歴史と発展、収蔵品、展覧会、事業、およびミュージアム
に関係する個人やグループの寄与までも記録している。

これらの記録は、組織固有のかけがえない財産である。

ミュージアムは、永続する価値を持つ組織の記録を体系的に収集、組織化、保存し、利用に供し、あらゆる形態のミュージアムの現用記録の作成、維持、そして最終的な保存または破棄の決定のための方針と手順を提示するような、活動的で専門的なアーカイブズ・プログラムを継続すべきである。

(そして、より具体的にミュージアム・アーカイブズの資が次のように挙げられている)

- 組織の記録。特にあらゆる段階における管理に関するもの。例えば、書簡、メモ、議事録、会計記録、報告書、譲与記録、部門別ファイル、設計図、記録写真とネガフィルム、音声、ビデオ、刊行物。
- コレクションに関する記録。例えば資料や標本の目録、展示やインスタレーションの記録など。これらはアーカイブズで保管されるが、頻繁に使われるなら学芸部門、コレクション登録部門あるいはコレクション管理部門で保管することもできる。
- 入手した資料。例えば個人や組織の文書で、その博物館の特定の分野 (ex. 科学、人類学、自然史、芸術、歴史) との関連からミュージアムの使命に貢献するものや、博物館のコレクションや展示プログラムに価値を付与するような文書。

ガイドラインの改訂

ワーキング・グループでの話し合い

2018.8

- 年次大会セクション・ミーティングで 現ガイドラインを配布、小グループで討論

2019.8

- ワーキング・グループによる進捗の報告とメンバーの募集

2021.1

- SAA全体のメーリング・リスト、セクションのHPとメーリングリストでドラフトの公表と意見募集の告知

2021.2

- Zoomでのフィードバック・ミーティング 2回 (2回目に参加、6名の参加者)
- [A Closer Look: The Harvard Art Museums Podcast | Harvard Art Museums](#) 司会者

2021.夏?

- 新ガイドラインの承認? ← ハーバード美術館アーキビスト(共同議長)による



新旧ガイドラインのちがい①

新

(前文)

1. 序文と使命声明書
2. 収集の範囲
3. 組織上の配置
4. 専門職アーキビストとアーカイブズの職員
5. 方針と標準

旧

(前文)

序

1. 定義と範囲
2. 使命声明書
3. アーカイブの地位
4. 専門職としての
アーキビスト
5. ミュージアムの記録と
個人文書

新旧ガイドラインのちがい②

6. 記録管理

1. ミュージアムの機構、発展、使命、機能の長期にわたる証拠
2. ミュージアムの行動、決定、方針、財政的法的権利と責任の文書化
3. 研究および情報的価値

7. インフラストラクチャー

8. アクセスと利用
9. アウトリーチ
10. 返還

6. 収集資料のための受入方針

7. ミュージアム・レコードのリテンションについての基準

8. 現用記録

9. 場所と条件

10. 記録の編成, 記録, 保存

11. アクセス

新ガイドラインに加わったこと①

前文

リソースガイド

序文

すべてのミュージアムがアーカイブズを...

組織体、個人やグループの記録 + **話題**の記録

2.

ダイバーシティとインクルージョン

3.

他のコレクション部門と同じレベル

新ガイドラインに加わったこと②

4.

アウトリーチ

アドボカシー（提唱）

ベスト・プラクティスと倫理

職員の雇用と配置レベル（他部門と同じに）

非差別で機会均等な雇用

7.

インフラストラクチャー

デジタル・システム

新ガイドラインに加わったこと③

8.

アクセス制限（限定公開）
オンラインでの提供

9.

アウトリーチ

10.

返還（マニュアル本追加の章 参照）

-アメリカ先住民墳墓保護・返還法(NAGPRA)

-ナチス略奪美術品

例) フィラデルフィア美術館 《海辺に横たわる裸婦》

<https://www.philamuseum.org/collections/permanent/59522.html> 来歴調査

リソースの 8

<https://www2.archivists.org/groups/museum-archives-section/8-born-digital-and-digitization>

- バード大学院センターのウェブサイトのアーカイビング（バード大学院センター アーカイブズ*）
- 長期保存に望ましいファイル・フォーマット（バード大学院センター アーカイブズ）
- 電子ファイルのアーカイブズへの移管（バード大学院センター アーカイブズ）
- 写真のデジタル化と目録化マニュアル（ブルックリン歴史協会）～Past Perfect <https://museumsoftware.com/>

リソースの8 つづき

- 3.5インチ・フロッピーディスクからのファイル受入（ゲティ財団**）
 - 5.25インチ・フロッピーディスクからのファイル受入（ゲティ財団）
 - コンピュータからのファイル受入（ゲティ財団）
 - 外付けドライブからのファイル受入（ゲティ財団）
 - ネットワーク・ドライブからのファイルの受入（ゲティ財団）
 - CD/DVDからのファイル受入（ゲティ財団）
- デジタル保存ポリシー（ブルックリン歴史協会）

補足 リソース8への提供者

*バード大学院センター

<https://www.bgc.bard.edu/>

**ゲティ財団GRI Institutional Records and Archives

https://www.getty.edu/research/special_collections/institutional_archives/

***ブルックリン歴史協会⇒ブルックリン歴史センター

<https://www.bklynlibrary.org/locations/center-for-brooklyn-history>

アーカイブズ界の変化

- 電子記録の登場
レコード・マネジメントからレコードキーピングへ
- ボーン・デジタル資料の保存
⇒SAAによるDAS : Digital Archives Specialist資格の創設
<https://www2.archivists.org/prof-education/das>
- デジタル化とデジタル化資料の保存
記録媒体の多様化
- 企業によるコレクション・マネジメント・システム
- 社会との関係
ダイバーシティとインクルージョン
アドボカシー

ありがとうございました♡

Twitter @artemismarch

- RiC Records in Context

<https://www.ica.org/en/egad-ric-conceptual-model>

- 公文書管理委員会 デジタル・ワーキンググループ

<https://www8.cao.go.jp/koubuniinkai/digitalwg/digitalwg.html>